

資料 5

夏山登山計画審査会について

日 時 : 平成 29 年 7 月 6 日 (木曜日) 14 時から
場 所 : 県庁昭和館 多目的室 3

1 現段階における審査内容 (案)

1 行事名	
2 目的	
3 場 所	
4 期 日	
5 日程コース	
6 引率者、山歴	(引率者携帯番号等を追加記載)
7 参加者	(保護者携帯番号等を追加記載)
8 装備計画 (共同装備、個人装備)	
9 食糧計画	
10 事前トレーニング計画・内容	
11 事故防止及び救急対策	
(1) 常時対策 (※)	
ア 気象情報の入手方法 (気象庁HP等)	
イ 入手内容 (注意報・警報、雷、降雨等)	
ウ 避難経路 (エスケープルート) の詳細な記載	
エ 避難場所等の詳細な記載 (避難小屋、山荘、管理小屋)	
(2) 救急対策 (※)	
ア 医療機関、管理小屋等の連絡先 (緊急時対応フロー図に記載)	
イ 緊急時の連絡体制 (緊急時対応フロー図に記載)	
ウ 通信用機器の確認 (携帯電話、衛星電話、アマチュア無線機等)	
エ 保険の加入	
(3) 事故防止対策 (※)	
ア 山岳情報の収集	
イ 参加生徒の健康管理	
ウ 計画変更時の相談先・報告先	
12 緊急時の連絡先 (学校、昼・夜)	
13 緊急図	
14 緊急時対応フロー図	
<input type="checkbox"/> 審査対象に高体連等の団体が主催する講習会等も追加	
<input type="checkbox"/> 報告書の提出 (ヒヤリハット事例を含む)	

(1) アンダーラインは追加した項目
(2) ※は新たに小項目を設け、具体的な内容を審査する

2 7月6日の審査会において、第一次報告書を踏まえ、上記の内容を改めて確認

従来からの変化点：
赤枠部分を追記

今回の事故では8名もの命が失われました。

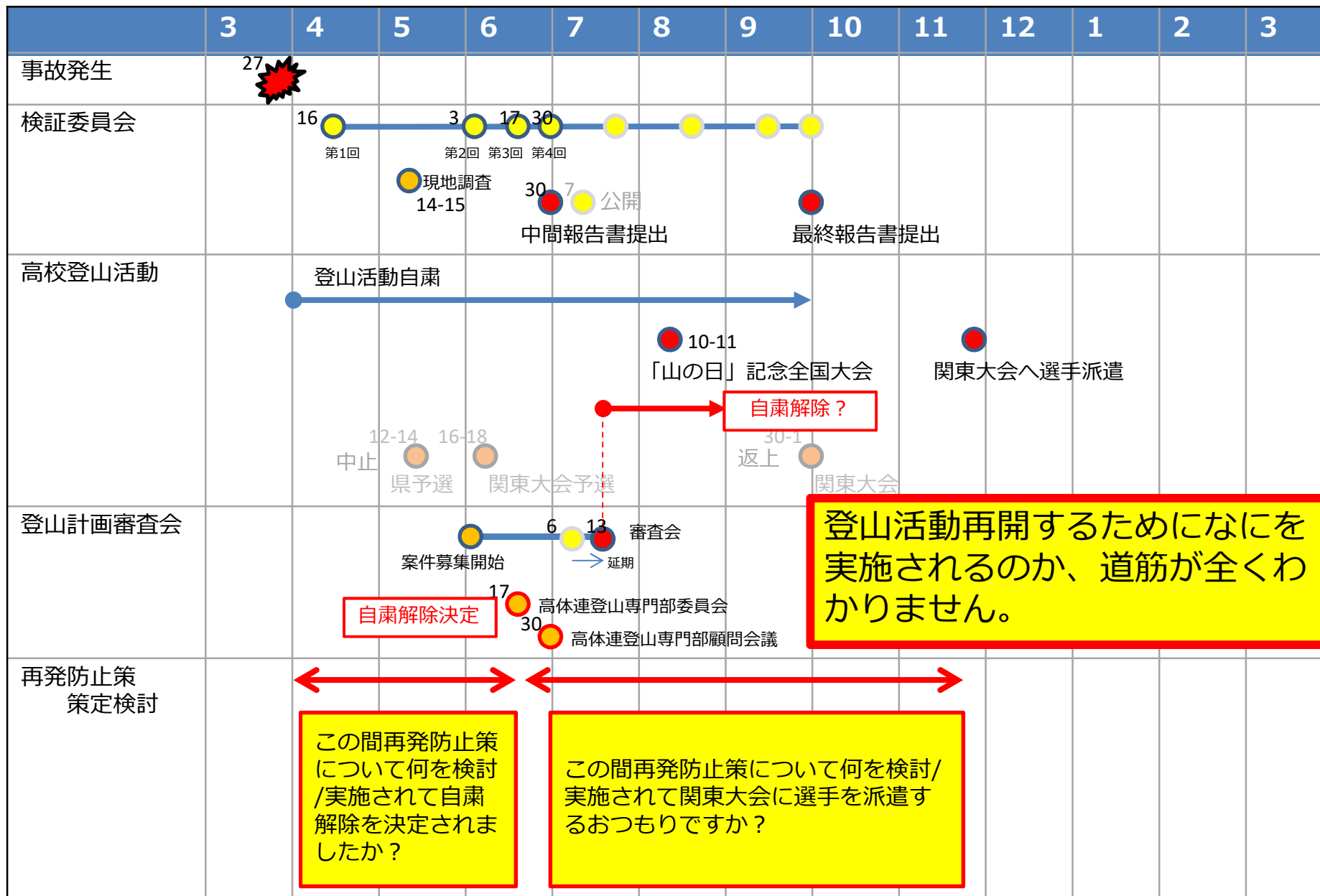
その対策はA4の紙1枚に何行か追記するだけでまとめられるものなのではないでしょうか？

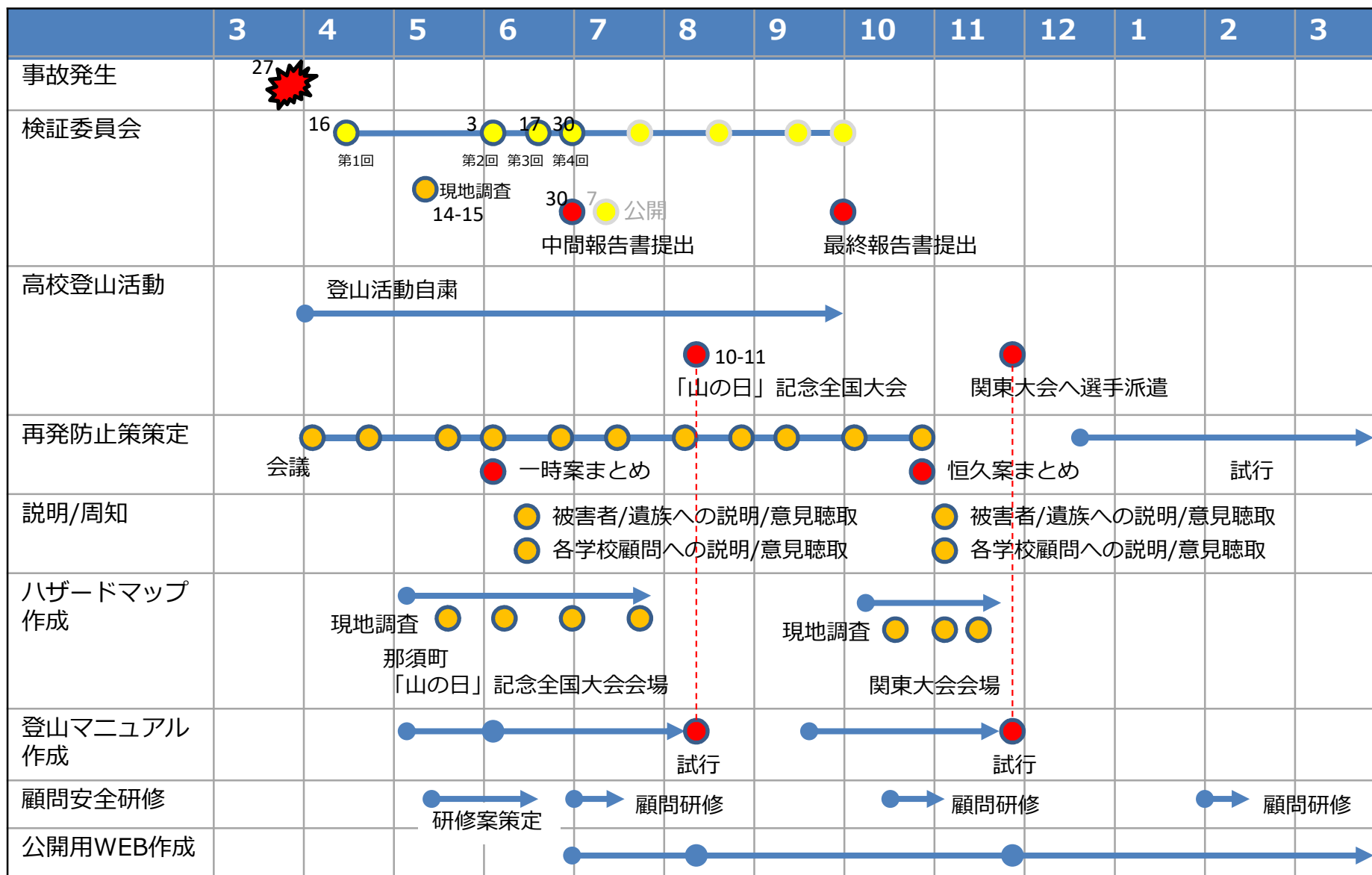
しかもここで述べられている対策は、結局登山計画書にいくつか欄を追加しただけですよね？いくつか欄を追加するだけで登山事故は防げるものなのではないでしょうか？

あまりにも適当すぎませんか？
あなた方にとって8名の命はそんなに軽いものなのですか？

「できる限りの対策はする」と教育長が仰っていましたが、これが県の「できる限りの対策」なのではないでしょうか？

これで安心して登山を再開できると考えられているとするならば、良識を疑います。





せめてしっかりとした対策案と日程をこのような形で作成し、実行していただきたい